

東京都医師確保計画改定に向けた医療機関等への調査内容について(案)

東京都医師確保計画に向けた検討のため、以下のとおり調査を実施する。結果は、第 4 回委員会で報告する予定。

なお、調査結果を踏まえて、追加で病院等に対してヒアリングを実施予定。

1 調査対象：都内の大学病院本院（13 箇所）

(1) 地域偏在

- ・ 医師派遣状況、派遣決定方法（派遣元としての調査）
- ・ 現行の派遣制度の課題
- ・ 特定機能病院の承認要件となった地域への人的協力をどのように進めていく予定か（特定機能病院のみ）

(2) 診療科偏在

- ・ 専攻医が減少した場合の影響・不足する診療科の医師を増やすために必要と考える対策は何か。
- ・ 「連携プログラム」「特別地域連携プログラム」を設けている場合の課題は。
- ・ 専攻医、指導医を連携先(他県)に派遣する場合の影響は。
- ・ シーリング制度に対する意見

(3) 臨床研修医への調査

- ・ 専門研修の診療科を選択する理由は何か
- ・ 都において不足する診療科をどのような支援があれば選択するか

2 調査対象：西多摩、南多摩保健医療圏の病院（西多摩 28 箇所、南多摩 18 箇所）

(1) 地域偏在

- ・ 医師派遣状況、派遣決定方法（派遣先としての調査）
- ・ 現行の派遣制度の課題 ・ 派遣元及び派遣される医師に求めることはあるか。
- ・ 医師確保に向け情報発信において取り組んでいることは何か。求める支援はあるか。
- ・ 医師確保に必要だと考えること

(2) 働き方改革

- ・ 医師のタスクシフト先を進めているか。
- ・ どのような取組をしているか。課題は何か

(3) 臨床研修医への調査

- ・ 専門研修の診療科を選択する理由は何か
- ・ 都において不足する診療科をどのような支援があれば選択するか

3 調査対象：大学医学部（13 箇所）

(1) 医師奨学金（地域枠）

- ・ 地域枠（恒久定員）を設定する意向はあるか。意向がない場合、その理由は。

- ・ 地域枠制度の課題（設定のある大学）
- ・ 指定勤務先の決定方法（設定のある大学）
- ・ 医療分野の決定方法（設定のある大学）

（２）診療科偏在

- ・ 不足する診療科の医師を増やすために必要と考える対策は何か。

４ 調査対象：医師奨学金被貸与者（学生、臨床研修、専攻医以降）

（１）医師奨学金（地域枠）

- ・ 本制度について変更を求める点はあるか
- ・ 事業を何で知ったのか
- ・ 応募動機

（２）地域医療支援ドクター

- ・ 地域医療支援ドクターについて知っているか

５ 調査対象：地域医療支援ドクター

（１）制度内容

- ・ 本制度について変更を求める点はあるか
- ・ 事業を何で知ったのか
- ・ どのような周知が効果的と考えるか

以上